



2014年5月26日
鉄道友の会

鉄道友の会 選定

2014年ブルーリボン賞・ローレル賞決定

■ **ブルーリボン賞 近畿日本鉄道 50000系**

■ **ローレル賞 東日本旅客鉄道 E6系**

■ **ローレル賞 福井鉄道 F1000形**

鉄道友の会(会長 須田 寛、会員約3,200名)は、会員の投票結果に基づき、選考委員会
が最優秀と認めた近畿日本鉄道50000系を、2014年のブルーリボン賞に選定しました。

また、会員の投票結果に基づき、選考委員会が優秀と認めた東日本旅客鉄道E6系と
福井鉄道F1000形を、2014年のローレル賞に選定しました。

賞の趣旨、選定車両の解説・選定理由などは別紙をご覧ください。

2014 年ブルーリボン賞 選定車両の解説・選定理由

近畿日本鉄道 50000 系

伊勢神宮の第 62 回式年遷宮に合わせて観光特急「しまかぜ」として製造された車両で、2013 年 3 月 21 日から大阪難波・近鉄名古屋～賢島間で営業運転を始めました。

大阪・名古屋方からハイデッカー展望車両(Tc1)、平床の一般車両(M1)、平床で個室を備えたグループ席車両(M2)、ダブルデッカーのカフェ車両(T)、平床のバリアフリー対応一般車両(M3)、ハイデッカー展望車両(Tc2)の 6 両で構成しています。

先頭車両の床面高さはレール面上 1870mm と平床車両より 720mm 高くし、前頭部は前方展望を考慮して、大型ガラス 6 枚による多面体デザインとし、正面中央にはね上げ式非常扉を設けています。車体塗色は、ホワイトをベースにしてブルーの色彩を合わせ、さらにゴールドのラインを配しています。

ダブルデッカーのカフェ車両には開放的な 2 階に 13 席、1 階に 6 席と車内販売サービスの拠点となるカウンターを設け、専属アテンダントが沿線の食材を用いたバラエティに富んだフードやドリンクを供して地域振興の一翼を担っています。なお、カフェ室に入ることなく、通り抜けができるように平床通路が設けてあります。グループ席車両にはサロン席と洋風個室に加え、掘りごたつ風の構造とした和風個室を設けています。展望車両と一般車両の腰掛は、3 列(2+1)配置でシートピッチは 1250mm を確保し、腰掛の表生地には本革を用いています。また、背もたれのエアクッションにより腰部の硬さを調整するランバーサポート機能とともにリラクゼーション機能も備え、21020 系「アーバンライナー・ネクスト」のゆりかご式シートを進化させています。

車両性能では、実績があり堅実で実用的な機器をベースに、横揺れ軽減装置(フルアクティブサスペンション)を全車両に導入するなど最新技術を積極的に取り入れるとともに、低騒音の電動空気圧縮機や駆動装置、LED 照明の本格採用など環境にも十分に配慮しています。

以上のように、この車両は国内外からの訪問客が多い伊勢志摩地域への観光輸送用に特化して開発・製造され、近畿日本鉄道の特急車両の中で最上級な車両と位置付けることができます。

鉄道友の会は、鉄道本来の「輸送」の根幹である特急ネットワークの一翼を担うとともに、特急車両群の中でフラッグシップ車両として位置付けられる近畿日本鉄道 50000 系をブルーリボン賞に選定しました。



ブルーリボン賞 近畿日本鉄道 50000 系

2014 年ローレル賞 選定車両の解説・選定理由

東日本旅客鉄道 E6 系

東日本旅客鉄道 E6 系は新在直通の新幹線車両で、2013 年 3 月に従来の E3 系「こまち」の後継車両として、最高時速 300km で運転を開始し、本年 3 月には最高時速 320km となり、世界の最速列車の仲間入りをしました。

E6 系は、在来線の車両限界および車体長 20m(先頭車については、先頭ノーズの関係で約 23m)という厳しい条件の中で高速走行を実現するとともに、在来線区間では急曲線などに対しても走行安定性を確保しています。なお、新幹線区間では、E5 系と併結して走行することから力行およびブレーキ性能は E5 系と同じ仕様とし、在来線区間では最高時速 130km としています。

E6 系の編成定員は、環境性能確保のためロングノーズタイプ(先頭部の長さは約 13m)の先頭形状を採用したこと、およびバリアフリースペースの充実を図ったことなどにより、6 両編成では従来の E3 系の定員に対し不足することから、7 両編成(定員 336 人)とすることで、同程度の定員を確保しています。

MT 比は 5M2T とし、4 両+3 両の 2 ユニットで構成しており、機器配置は、屋根上にはできる限り機器を搭載しない構造(車両高さを E3 系より 430mm 低くし E5 系と同じ 3650mm とした)として、空気調和装置などは従来よりもコンパクト化し床下に配置し、特高压引通し線は屋根上から車内天井部配置としました。また、パンタグラフ遮音板は在来線の車両限界を考慮した形状になっています。

台車は、軸距を E3 系より 250mm 長い 2500mm とし、高速時の走行安定性を図り、在来線の走行安定性確保としては、1 両あたりヨーダンパー 4 本のうち 2 本を減衰力切替式としました。また、台車前後のフサギ板には冬季の雪対策としてヒーターが付いています。基礎ブレーキ装置は、空圧方式としており、等圧のパッドと中央締結式のブレーキディスクとを組み合わせることにより、高速からのブレーキ性能を確保しています。

主回路システムは 3 両 1 ユニットおよび 4 両 1 ユニットによって構成し、新幹線区間は 25000V、在来線区間は 20000V に対応したシステムとなっています。

また、新幹線区間の曲線通過時の乗り心地を向上させるため、空気ばね式車体傾斜装置を搭載し(最大傾斜角度 1.5 度)、半径 4000m 以上の曲線を 320 km/h で走行可能にしました。さらに、全車両に電気式アクチュエーターのフルアクティブサスペンションを搭載し、高速走行時の左右動を低減しました。

以上のように、鉄道友の会は、在来線の車両限界という制約の中で高速性能と環境性を向上し、E5 系と併結時の時速 320km 運転を実現したことを評価して、E6 系をローレル賞に選定しました。



ローレル賞 東日本旅客鉄道 E6 系

2014 年ローレル賞 選定車両の解説・選定理由

福井鉄道 F1000 形

福井鉄道福武線は、法規上は鉄道線と軌道線(路面電車)に分かれていますが、従前は鉄道線タイプの大型車両を使用しており軌道線の停留場では扉の開閉に連動した折りたたみ式ステップによって乗客は乗り降りをしていました。2006年に鉄道線のプラットホームを低くするとともに名古屋鉄道から2車体接続の軌道線車両を導入して、乗降の利便性を向上しました。しかし、朝夕のラッシュ時には輸送力不足となることから従来の鉄道線タイプの大型車両も引き続き必要でした。一方、名古屋鉄道から同時に導入した部分低床式路面電車 800 形は乗降が容易なため利用者から好評価を得ていました。このような状況において、“人と環境にやさしい”をコンセプトに、大型車両のような輸送力を持った低床式車両である F1000 形が 2013 年 3 月 31 日に営業運転を開始しました。

愛称名は福井県民からの公募よって、FUKUI(福井県)と TRAM(トラム)との造語による FUKURAM(ふくらむ)となりました。これは“福井鉄道を中心に沿線の街が膨らむ”、“人々の生活を思い、夢が膨らんで成長していく”をイメージと親しみや愛着を湧きやすいと考えられることから選ばれたものです。

車両の基本は、ボンバルディア(元 AD トランツ)の GT 形 LRV を新潟トランスによるライセンス製作したもので、このタイプとして我が国で初めて3車体3台車、全長 27m の構成となりました。先頭部はこれまでにない未来的・SF 的デザインとしています。プラットホームと車体の間隔および線路条件から車体幅は 2.6m とし、従来の新潟トランス製 LRV と比べて約 200mm 広がっています。編成当たりの定員は 155 人(座席 53 人)となり、どちらも我が国の低床式車両として最大のものになっています。車椅子の乗客が無人駅で乗降する場合、運転士が乗客のところに向いて運賃収受の対応をするため、車椅子が車内を通る通路幅を考慮しないことで、ゆとりある座席幅を確保しています。駅によって左右どちらの乗降口を使用する場合でも運賃受領がスムーズになるよう、運賃箱は運転士背面の中央部に配置され、運転士は左右どちらかでも運転席へ出入りできるように機器配置されています。

駆動システムや台車構造、ブレーキシステムは従来の新潟トランス製 LRV の標準構造の独立車輪駆動としています。主要電気品は国産化された機器が採用されています。

以上のように、鉄道友の会は、鉄道線と軌道線を直通運用するために必要な輸送力・車内設備・利便性を向上するための低床式車両の採用といった諸要件を満たすことで、所期の目的を実現した福井鉄道 F1000 形をローレル賞に選定しました。



ローレル賞 福井鉄道 F1000 形

ブルーリボン賞・ローレル賞とは

鉄道友の会が毎年1回、前年1月1日から12月31日までの間に日本国内で営業運転を正式に開始した新造および改造車両から選定している賞です。



ブルーリボン賞（1958年制定）

会員による投票の結果に基づき、ブルーリボン賞・ローレル賞選考委員会が最優秀と認めた車両を選定します。



ローレル賞（1961年制定）

会員による投票の結果に基づき、ブルーリボン賞・ローレル賞選考委員会が優秀と認めた車両を選定します。

ブルーリボン賞・ローレル賞選考委員会

鉄道車両に精通するベテランの鉄道友の会会員で構成しています。

ブルーリボン賞・ローレル賞規程に基づいて候補車両を選出し、両賞の選考を行います。

なお、今年の選考委員は8名、候補車両は12形式でした。

添付資料

過去のブルーリボン賞・ローレル賞選定車両一覧

本件につきましてのお問い合わせは下記宛にお願いいたします。

〒102-0074 東京都千代田区九段南 4-7-16

第五DMJビル3階

鉄道友の会（本部事務局） 担当：大庭

TEL & FAX 03-5215-0305

URL <http://www.jrc.gr.jp/>

■ ブルーリボン賞・ローレル賞 選定車両一覧 (その1)

年度	ブルーリボン賞	ローレル賞
1958	小田急電鉄 3000系	(制定なし)
1959	日本国有鉄道 151系	(制定なし)
1960	近畿日本鉄道 10100系	(制定なし)
1961	日本国有鉄道 キハ81系	京阪神急行電鉄 2000系・2300系
1962	名古屋鉄道 7000系	日本国有鉄道 401・421系
1963	近畿日本鉄道 20100系	京王帝都電鉄 3000系
1964	小田急電鉄 3100系	京王帝都電鉄 5000系
1965	日本国有鉄道 0系	山陽電気鉄道 3000系
1966	名古屋鉄道 キハ8000系	札幌市交通局 A830形
1967	近畿日本鉄道 18200系	長野電鉄 0系
1968	日本国有鉄道 581系	該当車なし
1969	日本国有鉄道 EF66形	東京都交通局 6000系
1970	西武鉄道 5000系	大阪市交通局 60系
1971	該当車なし	名古屋鉄道 モ600形
1972	日本国有鉄道 14系(寝台車)	帝都高速度交通営団 6000系
1973	日本国有鉄道 183系	小田急電鉄 9000系
1974	京成電鉄 AE系	西日本鉄道 2000系
1975	該当車なし	日本国有鉄道 24系25形(寝台車) 黒部峡谷鉄道 EH形
1976	阪急電鉄 6300系	日本国有鉄道 キハ66・67形 東京急行電鉄 8500系 富士急行 5000系
1977	名古屋鉄道 6000系	上信電鉄 1000系 札幌市交通局 6000系
1978	近畿日本鉄道 12400系	東京都交通局 新7000形 神戸市交通局 1000系
1979	近畿日本鉄道 30000系	京浜急行電鉄 800系 日本国有鉄道 オハ50系
1980	江ノ島鎌倉観光 1000系	名古屋鉄道 100系 北総開発鉄道 7000系 富山地方鉄道 14760系
1981	小田急電鉄 7000系	日本国有鉄道 117系 長崎電気軌道 2000形
1982	箱根登山鉄道 1000形	福岡市交通局 1000系
1983	京浜急行電鉄 2000系	日本国有鉄道 200系 熊本市交通局 8200形
1984	日本国有鉄道 14系700番代	京阪電気鉄道 6000系
1985	名古屋鉄道 8800系	帝都高速度交通営団 01系 樽見鉄道 ハイモ180形
1986	伊豆急行 2100系	南海電気鉄道 10000系 日本国有鉄道 100系
1987	北海道旅客鉄道 キハ83・84形	北大阪急行電鉄 8000系 近畿日本鉄道 7000系 四国旅客鉄道 キハ185系
1988	小田急電鉄 10000系	仙台市交通局 1000系

■ ブルーリボン賞・ローレル賞 選定車両一覧 (その2)

年度	ブルーリボン賞	ローレル賞
1989	近畿日本鉄道 21000系	九州旅客鉄道 783系
1990	東日本旅客鉄道 651系	西日本旅客鉄道 221系 四国旅客鉄道 2000系
1991	東武鉄道 100系	東日本旅客鉄道 251系 大阪市交通局 70系
1992	小田急電鉄 20000系	東日本旅客鉄道 253系 九州旅客鉄道 キハ200系
1993	九州旅客鉄道 787系	東海旅客鉄道 300系 日本貨物鉄道 EF200形
1994	該当車なし	日本貨物鉄道 DF200形
1995	南海電気鉄道 50000系	北海道旅客鉄道 キハ281系
1996	九州旅客鉄道 883系	日本貨物鉄道 コキ71形 東海旅客鉄道 383系
1997	該当車なし	北海道旅客鉄道 731系
1998	西日本旅客鉄道 500系	熊本市交通局 9700形 叡山電鉄 900形 近畿日本鉄道 5800系
1999	西日本旅客鉄道／東海旅客鉄道 285系	スカイレールサービス 200形
2000	東日本旅客鉄道 E26系	広島電鉄 5000形 東海旅客鉄道/西日本旅客鉄道 700系 東日本旅客鉄道 209系950番代
2001	九州旅客鉄道 885系	名古屋鉄道 モ800形 近畿日本鉄道 3220系・5820系・9820系
2002	東日本旅客鉄道 E257系	西日本旅客鉄道 キハ187系
2003	近畿日本鉄道 21020系	岡山電気軌道 9200形 鹿児島市交通局 1000形
2004	四国旅客鉄道 5100形	該当車なし
2005	日本貨物鉄道 M250系	九州旅客鉄道 800系 長崎電気軌道 3000形
2006	小田急電鉄 50000形	名古屋鉄道 2000系 愛知高速交通 100形 広島電鉄 5100形 福岡市交通局 3000系
2007	富山ライトレール 0600形	東日本旅客鉄道 E233系 西日本鉄道 3000形
2008	東海旅客鉄道／西日本旅客鉄道 N700系	東日本旅客鉄道 キハE200形 東日本旅客鉄道 E721系／仙台空港鉄道 SAT721系
2009	小田急電鉄 60000形	豊橋鉄道 T1000形 京阪電気鉄道 3000系
2010	東日本旅客鉄道 E259系	近畿日本鉄道 22600系
2011	京成電鉄 AE形	東京地下鉄 16000系
2012	東日本旅客鉄道 E5系	日本貨物鉄道 HD300形900番代
2013	東京地下鉄 1000系	該当車なし
2014	近畿日本鉄道 50000系	東日本旅客鉄道 E6系 福井鉄道 F1000形